

校長室だより



令和3年12月8日

校長 齋藤 瑞穂

「みんなを生きる」学習発表会 ～4・5・6年生 みんなでつくりあげたね～

4日は4・5・6年生の学習発表会でした。みなさんにその様子をしょうかいしますね。

4年生は、杉七タイム「みんなつながるやさしい町」の学習を「体験！発見！！めざせ思いやり隊」と題して発表しました。歳をとったり生まれたときからどこかに不自由なところをもっていたりする人たちについて、体験や交流を通して考え、思いやりをもってみんなが幸せに暮らすための工夫を提案してくれました。障害について学ぼうとする赤いバンダナの「まなび隊」が、最後には全員青いバンダナの「思いやり隊」になり、手話で合唱する姿には胸がいっぱいになりました。



5年生は「時空を超えて～世界音楽の旅」。トルコ・ブラジル・インドネシア・ペルー・アメリカの5か国を、グループに分かれ、その特徴的な音楽とともに歴史や文化も紹介し、最後には日本の音楽「さくらさくら」とソーラン節の全員合奏で締めました。グループごとにたくさん話し合い、衣装なども準備



して、本番は楽しんで発表できたと思います。やり切ったというみんなの笑顔がかがやいていました。会場のお家の方も、ひととき、世界を旅したような気持ちになったのではないのでしょうか。

そして6年生の「中学生免許」。中学生になるには免許が必要という、もしもの世界が舞台です。免許をとるために仲間と協力して課題をクリアしていく様子が楽しく感じられるのですが、検定試験は難題で・・・1年生から4年生がまだ観ていないので、くわしくは書けませんが、6年生の熱演に会場中がシーンとなり、話の先がどうなるのか、はらはらしながら見守りました。物語の世界にすっかり引き込まれました。最後の「すてきな友達」の全員合唱は、歌詞の内容とともに、観客の心を打つものでした。



4・5・6年生の発表はどれも、みなさんが自分たちで工夫し、協力して作り上げたことが伝わってくる素晴らしいものでした。4月の始業式で、今年度は「みんなで生きる」ということを考えていこうとお話したのをおぼえていますか？今回の学習発表会を観て、私は「みんなで生きる」ことは「みんなを生きる」ことでもあるな、としみじみ思いました。みなさんが協力し、それぞれの役割をいっしょけんめい果たしたことによって、みなさん一人一人のよさがさらにかがやいていたのを目の当たりにしたからです。なんてステキな時間だったことでしょう。みなさんに心から拍手を送ります。

今年も残りわずかとなりました。世界では、新型コロナウイルスの変異ウイルスの感染拡大が心配されていますが、杉七小のみなさんはこれまで同様、「てまき(手洗い・うがい・きよりをとる)」をきちんと守り、元気に新年を迎えられるように一人一人気を付けていきましょう。

みんなのしあわせのために ～ 歳末たすけあい運動 12/1～31 ～

12月7日、5年生2名が、歳末たすけあい運動の募金呼びかけ活動にボランティアとして参加しました。この活動は、毎年、区内各地で行われていて、杉七小は杉六小や阿佐ヶ谷中といっしょに、阿佐ヶ谷駅や南阿佐ヶ谷駅で募金の呼びかけをしています。

この募金は、もともとは第二次世界大戦後、貧しく苦しい生活をしている人々を救おうと始まったものだそうですが、時代の変化とともに、地域の安心・安全といった「みんなのしあわせ」を支えるための活動となっています。



阿佐中生生とともに、改札前で募金を呼びかけました。



友達への呼びかけに励んでくれた5年生

あたたかい思いやりの輪が広がって、さらに住みよくみんなが幸せな阿佐谷の町になりますように！



保護者の皆様

4日は4～6年生の学習発表会に多くのご参観をいただき、ありがとうございました。各学年とも、高学年らしく子供たちが主体的に学習に取り組み、工夫して発表する姿をご覧いただけたのではないのでしょうか。発表後の子供たちの、「やりきった！」という満足そうな明るい顔が何より嬉しかったです。

2学期の登校もあと10日ほどになりました。大きな行事が終わり、各学級、学習や生活のまとめに取り組んでいます。子供たち一人一人が2学期の歩みを振り返り、お互いの成長を認め合うことができるようにしていきます。